



高知空港に遮熱塗装

省エネで屋根など

効果見極め拡大も

【香長】省エネ効果 これまでに太陽光発電を高めようと南国市の高知龍馬空港で、実験的に一部通路の屋根などに遮熱塗料を塗り、照明をLED（発光ダイオード）に取り換える作業が行われている。28日まで。効果を見極めた上で塗装面積の拡大を図る考え。

国土交通省の推進する「エコエアポート」施策の一環で、同空港は省エネ活動を展開。

今回はさらに省エネを進めようと、3カ所ある搭乗口とボーディングブリッジ（搭乗橋）を結ぶ通路（固定橋）のうち、一番東側の屋根部分66平方メートルにセラミック粉などが入った水性塗料を塗った。

また、この通路と建物西南部分のガラス窓計108平方メートルに、二酸化炭素素などが成分の水性塗料を使用。この効果で、屋根の表面温度が20度ほど、通路内部は以前より3度ほど下がるといふ。

一方、建物内の高知空港ビルの役員室、事務室の照明62個をLED蛍光灯に交換。この部分の年間消費電力を1万4500.6から7500.6に削減できる見込み。

同ビルの山本祐一施設課長は「省エネに効果があることが分れば、遮熱塗装の拡大も検討する」としている。

通路の屋根部分に遮熱塗料を塗る作業員ら（高知龍馬空港）

（橋本宣彦）